

# 株主のみなさまへ

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日



## ごあいさつ



代表取締役社長 名取 三郎

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は「なとりグループ」に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第62期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、改めて皆様の日頃のご支援に深く感謝申し上げます。

第62期は、利益面では原材料価格の落ち着きもありましたが、全社を挙げてのコストコントロールの取り組みが功を奏し、大幅な増益となりました。一方、売上面では景気低迷による消費者の生活防衛意識の一層の高まりや外部環境の急激な変化により、大変厳しい状況にありましたが、増収で終了することができました。

今期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）は、中期経営計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」の総仕上げの年となります。新製品開発を主として、攻めに軸足を移しながら、収益力強化の守りも固めていく二正面作戦で目標達成に向けて邁進していく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成22年6月吉日

### 経営理念

株式会社なとりとそのグループは、自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持てる会社を目指します。

### ミッション

素材の風味を活かし、生産・流通・販売において温度帯にとらわれず、手軽に食べられ、様々な食シーンにマッチする、楽しさの演出に欠かせないおつまみをお客様にお届けします。

### 企業メッセージ

ひとつまみの幸せ。

#### Contents

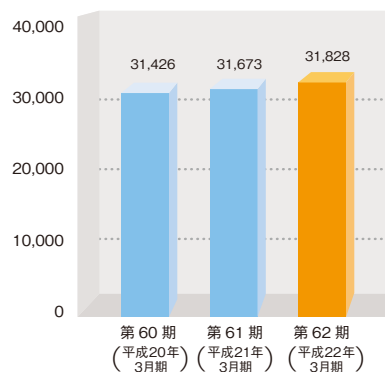
ごあいさつ	1
財務ハイライト	2
新製品のご紹介	5
製品ラインナップ	7
財務の状況	9
開発・生産・営業・物流拠点	12
会社概要・企業集団の状況	13
株式の状況	14

## 財務ハイライト

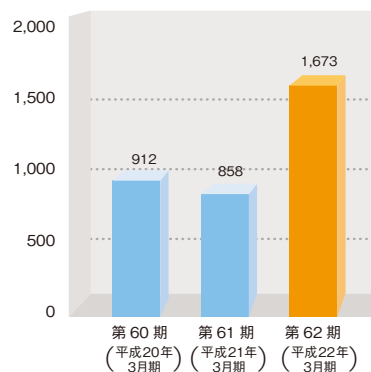
※単位未満は切り捨て

	第60期 (平成20年3月期)	第61期 (平成21年3月期)	第62期 (平成22年3月期)
売上高 (百万円)	31,426	31,673	31,828
経常利益 (百万円)	912	858	1,673
当期純利益 (百万円)	522	178	550
1株当たり当期純利益 (円)	35.26	12.07	37.87
総資産 (百万円)	23,954	23,783	25,886
純資産 (百万円)	14,334	13,883	14,319
自己資本比率 (%)	59.8	58.4	55.3
1株当たり純資産 (円)	952.91	954.69	984.68

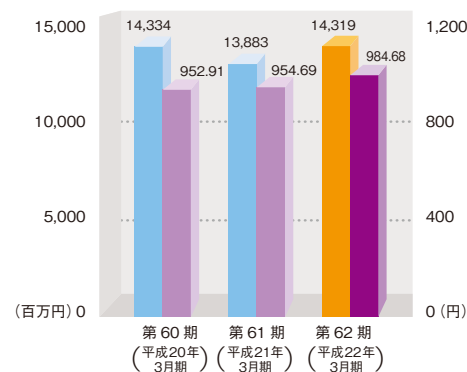
■ 売上高(百万円)



■ 経常利益(百万円)



■ 純資産(百万円)  
■ 1株当たり純資産(円)



### 第62期を振り返って

当連結会計年度における国内経済は、海外経済の持ち直しもあり、生産には緩やかながら回復の動きもありましたが、雇用情勢や所得環境は依然厳しく、個人消費の低迷から国内市場は慢性的な需要不足が続く状況にありました。

食品業界では、景気低迷による消費者の生活防衛意識の高まりから、低価格志向商品への需要シフトが進行し、また、「安全・安心を担保し、おいしく価値ある製品」の提供を求める消費者意識も高まっています。食品メーカーが厳しい競争下にある一方で、「内食回帰の傾向」は追い風となっております。

当社グループではこうした市場環境に対応し、全国の地域主力チェーンへの提案型営業の取り組み強化、及び大手コンビニエンスストア、総合スーパーへのチーム編成による営業組織の枠を超えた対応強化を拡充すると共に、消費者の節約志向に合わせた低価格製品の販売強化と、多様化するお客様のニーズを捉えた「価格に見合った価値ある製品」の市場投入を積極的に行いました。また、テレビCMを導入し、企業価値向上を目指したブランド戦略を採り、主力のチーズ鱈製品の売上拡大を積極的に行なった結果、増収を達成することができました。

製品群別にみても「一度は食べていただきたい 熟成チーズ鱈」などのチーズ鱈全体の売上が伸長したことや、新製品である「いつでも手軽に食べられる おつまみチーズ」が久々のヒット商品となり、酪農加工製品全体の売上が増加しました。農産加工製品も、豆菓子を中心とした低価格帯の「ジャストバックシリーズ」が好調に推移し、増収に貢献しました。

利益面では、原材料価格の落ち着きもありましたが、調達コスト低減の取り組みとして、仕入先の多元化及び在庫マネージメントの徹底に努めました。

テレビCMの実施や、売上増に伴う販売促進費の増加、設備の修繕等により費用が増加した一方で、コストコントロール委員会による費用のムダとりが功を奏し、その結果、当連結会計年度の売上高は31,828百万円(前期比0.5%増)、営業利益は1,668百万円(前期比93.5%増)、経常利益は1,673百万円(前期比94.9%増)、当期純利益は550百万円となりました。

### 今後の見通しについて

今後も、個人消費の低迷、企業間の価格競争の激化、原材料価格の変動など、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

しかしながら、本年は中期経営計画「イノベーション63」の最終年度であり、その達成に向けて以下の施策に取り組みます。

開発面では、新素材・新技術・新価値・新サービスという4つの切り口で、変化し続けるお客様のニーズをしっかりと捉え、価格に見合った価値があり、美味しく楽しさを演出するおつまみの開発に注力いたします。

販売面では、新製品と販売強化商品の集中的な市場投入を図り、取引先の新規開拓及びインスタシェアの拡大強化を図ります。

中期経営計画「イノベーション63」の総仕上げの年として、目標を達成すべく、更なる地道な努力を重ねてまいります。

# 中期経営計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」の進捗状況

## 4つの経営目標

中期経営計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」は、当社グループの持続的成長と企業価値向上を実現させるために構築した3ヵ年経営計画です。当計画では“新たなおつまみ市場の創出”、“自己革新による収益力の強化”、“グローバル化の一層の推進”、“社会的責任～安全・品質・環境～の重視”といった4つの経営目標を掲げ、その達成に向けて日々努力を重ねています。

## 中期経営計画最終年度における目標達成に向けて

### ○新たなおつまみ市場の創出

現在、珍味売場では、マーケットの変化へ対応し、従来の珍味メーカー以外にスナック系、豆系、肉系、魚肉系、酪農系などのメーカーが参入し、売場のボーダーレス化が一層進んでおります。当社グループでは、これまでの製品群別の分類である「2カテゴリー9ジャンル」を発展的に変更し、「おつまみ9ジャンル」として再定義を行い、売場や顧客のニーズの変化に対応したスピード経営を目指します。

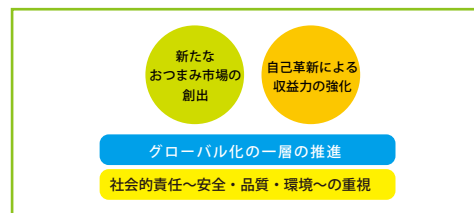
また、新たな顧客獲得を目指した新規開拓はもちろん、当社シェアの低い取引先におけるインスタシェアアップや、特定製品の戦略的拡販なども実施いたします。戦略的拡販のひとつとして、新製品「いつでも手軽に食べられる おつまみチーズ」を当社製品の柱である「チーズ鱈」に続く第2の柱となるように販促強化策を積極的に打ち出し、新たな売場への市場定着及び販売拡大に注力してまいります。

### ○収益力の強化に向けて

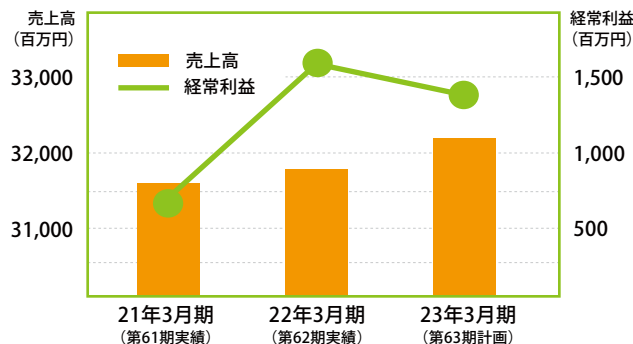
原資材調達コストを削減するために、仕入先の多元化及び商流の見直しなどに取り組んでまいります。また、原料、資材の見直しによる最適化を行い、同品質で低コスト、あるいは高品質で同コストな代替原材料・新原材料の発掘に努めてまいります。また、生産性を向上させるべく、生産設備のオートメーション化を図り、現場改善プロジェクトによる作業のムダとり・効率化を推進いたします。物流経費の削減としては、物流業務の一部アウトソーシングや、共同配送を他のセンターへ展開するなど収益力の更なる強化を図ってまいります。

今期は現行中期経営計画の総仕上げとして、また、次期中期経営計画への布石とすべく全社一丸となって取り組んでまいります。

### ■中期経営計画の構成



### ■経営目標





## 新たなチーズへの挑戦～いつでも手軽に食べられるおつまみチーズ～



### 濃厚で美味しい常温チーズおつまみを実現

2010年3月に発売された「いつでも手軽に食べられる おつまみチーズ」は、「チーズ鱈」に続く新たなチーズ製品の柱として、1年半の時間を費やし、開発、導入を進めてきた新しい酪農ジャンルの常温流通製品です。

これまでのチーズにはなかった新しい美味しさや食感を、当社ならではの製法により「おつまみにぴったり」という価値を持たせて発売しました。素材にこだわり、16ヶ月以上長期熟成させた英国産チェダーチーズ（シリアスリーストロング）を50%配合し、豊かなコクと風味を極限まで高める調味技術で「凝縮した旨み」に完成させました。また、濃厚なチーズのコクをじっくり味わっていただけるよう、「しっとりとしたなめらかな食感」にこだわり、常温でも長時間食感を維持できるよう、当社独自の製法を開発しました（特許出願中）。さらに、既存のミニスモークチーズより長さを短くし、ツイスト包装にすることで、手を汚さず、手軽に食べられる設計とした

「食べやすいひとくちサイズ」に仕上げています。これらの商品へのこだわりを実現するためには、新たな設備の導入等も必須で、関連部署すべての力を結集して結実いたしました。

### 新たな価値や美味しさを伝えるために

「いつでも手軽に食べられる おつまみチーズ」は、これまでの珍味市場に新たな変革を起こしたいという熱い思いで開発、導入を進めてきました。発売後も、より多くのお客様にお届けできるよう、販促活動に力を入れ、2010年2月に開催された「スーパーマーケットトレードショー」に出展し、「おつまみチーズ」を全面に打ち出した展示で、広告宣伝を行いました。今後も更なる定着化を目指して、サンプリング等を行う予定です。この商品の持つ新たな価値や美味しさが、当社の経営理念である食文化の創造とおお客様の満足に繋がると信じて、全社を挙げて売り込み、定着させてまいります。



いつでも手軽に食べられる  
おつまみチーズ



「スーパーマーケットトレードショー」  
当社ブース写真

### モンドセレクション受賞

世界的に権威ある食品品評会である『モンドセレクション』については、2007年より出品を継続しております。

2010年は、「一度は食べていただきたい粗挽きサラミ」が、2008年と2009年に続き、3年連続で金賞を受賞することができました。

当社製品としては、「一度は食べていただきたい 熟成チーズ鱈」に続く3年連続金賞受賞です。

一度は食べて  
いただきたい  
粗挽きサラミ



3年連続金賞受賞

一度は食べて  
いただきたい  
熟成チーズ鱈



3年連続金賞受賞

## スティックタイプのいかフライ 「うまいか」「辛口うまいか」

いかの旨みに加え、衣の調味にもこだわり、旨みと甘みをプラス。食べ応えのあるザクザクとした食感に仕上げたスティックタイプのいかフライです。揚げ物と相性のよいカレー風味を効かせた辛口タイプも同時発売。ビールやサワーにぴったりの味わいです。



## プレミアムアソート 「おつまみセレクション」第3弾

高品質な商品をバラエティ豊かに詰め合わせた今までにないプレミアムタイプのアソートです。第3弾は、赤ワイン仕立ての風味高い「ビーフジャーキー」とデンマーク産のポークを使用した「粗挽きサラミ」、コクと香りにこだわった「バルメザンチーズ鱈」の組み合わせです。ビールやワインのおつまみに、ちょっと贅沢なひとときをお楽しみください。



## 「ちょっと辛い柑橘風味のあたりめ」 「辛さ控えめ柑橘風味のさきいか」

「陳皮(みかんの皮)」と「山椒」が香る風味豊かな七味唐辛子を使用し、爽やかで上品な味わいに仕上げた「あたりめ」と「さきいか」です。「あたりめ」は裂き巾を広めにし、より七味唐辛子の風味を味わい深く仕上げました。「さきいか」はいかの甘さと、唐辛子の辛さの絶妙なコントラストで後引く味わいに仕上げました。お酒にもぴったりの逸品です。



## こんがりザクザク食感の「チータラ」 「ラ・チータ」

当社のロングセラー商品「チータラ」を使った濃厚な味わいと、ザクザクとした食感が楽しめるおつまみなスナックです。人気のカシューナッツも入った、飽きのこない美味しさが自慢です。ビールやワイン、カクテルにも相性抜群で、様々なシーンで、幅広い世代に好まれる期待の製品です。



## 「くちどけチーズたら」シリーズ 「粗挽きブラックペッパー」「バジルミックス」

チルドならではのくちどけなめらかな食感にこだわった「くちどけチーズたら」シリーズに新たなラインナップが登場しました。粗挽きブラックペッパーのピリッとスパイシーな味わいと香りが魅力の「粗挽きブラックペッパー」と、バジルなど3種のハーブをブレンドした爽やかな香りの「バジルミックス」の2種類です。



## 2種の素材の組み合わせが新しい 「ブルーんとくるみ」

食物繊維たっぷり、健康や美容を気にする女性に人気のブルーんとくるみを使ったひとくちサイズのお菓子です。ブルーンのフルーティーな酸味と上品な甘さが凝縮された味わいで、たっぷり混ぜ込んだくるみの香ばしさや甘みが絶妙にマッチしています。コリッと柔らかな歯ざわりも食感に変化を与えます。



# 製品ラインナップ

## 珍味売場

### 水産加工製品



一度は食べて  
いただきたい  
おいしいいさぎい



一度は食べて  
いただきたい  
おいしいあたりめ



一度は食べて  
いただきたい  
おいしい皮付いか燻



たけの逸品  
焼するめげそ



ハッピーバリュー  
ソフトいか燻製



おつまみ市場  
いかスモーク



味なおつまみ  
ささいか漁火



おいしい  
いかなんこつ



帆立貝柱燻製



チェダーチーズ入り  
かまぼこ



味わいめくり  
つまみ鱈



たけの逸品  
鮭とば



おいしい茎わかめ



いかりフライピリ辛味

## 珍味売場売上高

### 畜肉加工製品



一度は食べて  
いただきたい  
粗挽きサラミ



一度は食べて  
いただきたい  
おいしいサラミ



ハッピーバリュー  
ジャッキーカルパス



OTSUMAMI 牧場  
ビーフジャーキー

### 酪農加工製品



一度は食べて  
いただきたい  
濃厚チーズ鱈



濃厚チーズ鱈



チーズ好きが食べる  
おいしいチーズ鱈



おつまみ市場  
チーズ鱈



ハッピーバリュー  
チーズ鱈



JUST PACK  
Mini スモークチーズ

### 農産加工製品



JUST PACK  
渚あられ&ピーナッツ



JUST PACK  
柿ピー



ハッピーバリュー  
アーモンドミックス



おつまみ Personal  
つる餅ピーナッツ

### すなっくな珍味製品



ラ・チータ



こんがり&ザクザクに  
焼きあげた  
チーズ鱈&アーモンド

### その他製品(レトルト製品・セットもの)



酒肴逸品  
焼き貝つば焼風味



酒肴逸品  
うずらの味付たまご



酒肴逸品  
ほたて燻焼き



おつまみセクション  
第1弾



おつまみセクション  
第2弾



オールスター  
珍味プレー Jr.



～素材の風味を活かし、手軽に食べられ、楽しさを演出するおつまみをお届けします。～

29,095 百万円(91.4%)

珍味外売場

珍味外売場売上高

2,665 百万円(8.4%)



南イタリアの  
おいしいサラミ  
グリーンオリーブ風味

贅沢おつまみローズ



ごまだれ風味の  
やわらかい  
ビーフジャーキー

小物菓子製品



OTSUMAMI 牧場  
ベンシルカルバス

ソースカツ



チーズかまぼこ

かむおやつ  
あたりのチップ

かむおやつ  
味付  
するめチップ

素材菓子製品



梅スッキリ

素材のころ  
かりかり梅

こんぶ鮎



ねり梅甘い

JUST PACK  
ブルー

するめ昆布

チルド製品



くちどけチーズたら  
カマンベール

くちどけチーズたら  
粗挽きブラックペッパー



つば焼風  
貝の醤油焼き

िकासテーキ  
香ばし醤油味

製品群別の売上高・構成比 ※単位未満は切り捨て

水産加工製品 16,355 百万円 51.4%

酪農加工製品 4,519 百万円 14.2%

すなっくな珍味製品 73 百万円 0.2%

小物菓子製品 545 百万円 1.7%

チルド製品 687 百万円 2.2%

畜肉加工製品 4,306 百万円 13.5%

農産加工製品 1,090 百万円 3.4%

その他製品 2,749 百万円 8.7%

素材菓子製品 1,432 百万円 4.5%

※賃貸収入 68 百万円(売上高構成比 0.2%)

総売上高  
31,828  
百万円

## 財務の状況

### ■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)※単位未満は切り捨て

	当期末 (平成22年3月31日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
現金・預金	2,321	840
受取手形・売掛金	4,929	4,761
たな卸資産	3,487	4,354
繰延税金資産	207	175
その他	124	161
貸倒引当金	△12	△12
<b>流動資産合計</b>	<b>11,057</b>	<b>10,280</b>
有形固定資産	13,803	12,144
無形固定資産	154	150
投資その他の資産	870	1,207
<b>固定資産合計</b>	<b>14,828</b>	<b>13,503</b>
<b>資産合計</b>	<b>25,886</b>	<b>23,783</b>

	当期末 (平成22年3月31日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
支払手形・買掛金	2,764	2,999
短期借入金	1,709	2,779
1年以内に返済予定の長期借入金	645	400
未払法人税等	620	257
賞与引当金	299	259
その他	2,924	1,339
<b>流動負債合計</b>	<b>8,963</b>	<b>8,037</b>
長期借入金	1,505	900
繰延税金負債	235	478
役員退職慰労引当金	337	270
その他	523	213
<b>固定負債合計</b>	<b>2,602</b>	<b>1,863</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,566</b>	<b>9,900</b>

	当期末 (平成22年3月31日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
<b>純資産の部</b>		
資本金	1,975	1,975
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	10,872	10,496
自己株式	△815	△815
<b>株主資本合計</b>	<b>14,322</b>	<b>13,946</b>
其他有価証券評価差額金	△2	△62
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△2</b>	<b>△62</b>
<b>純資産合計</b>	<b>14,319</b>	<b>13,883</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>25,886</b>	<b>23,783</b>

## ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)※単位未満は切り捨て

	当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	31,828	31,673
売上原価	20,590	21,485
売上総利益	11,238	10,188
販売費及び一般管理費	9,569	9,326
営業利益	1,668	862
営業外収益	85	82
営業外費用	79	85
経常利益	1,673	858
特別利益	0	50
特別損失	573	260
税引前当期純利益	1,101	648
法人税、住民税及び事業税	812	437
法人税等調整額	△262	32
当期純利益	550	178

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)※単位未満は切り捨て

	当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,891	1,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,110	△871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431	△756
現金及び現金同等物の増減額	1,349	△182
現金及び現金同等物期首残高	543	726
現金及び現金同等物期末残高	1,893	543

### ■ POINT

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,349百万円増加し、1,893百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、2,891百万円(前年同期比1,446百万円増)、投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス1,110百万円(同238百万円減)、財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス431百万円(同324百万円増)となりました。

## ■ 連結株主資本等変動計算書

(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位:百万円)※単位未満は切り捨て

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成21年3月31日残高	1,975	2,290	10,496	△815	13,946	△62	13,883
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△174	—	△174	—	△174
当期純利益	—	—	550	—	550	—	550
自己株式の取得	—	—	—	0	0	—	0
自己株式の処分	—	0	—	0	0	—	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	60	60
連結会計年度中の変動額合計	—	0	376	0	376	60	436
平成22年3月31日残高	1,975	2,290	10,872	△815	14,322	△2	14,319

# 財務の状況

## ■個別貸借対照表

(単位:百万円)※単位未満は切り捨て

	当期末 (平成22年3月31日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
現金・預金	1,850	518
受取手形・売掛金	4,633	4,449
たな卸資産	3,390	4,228
繰延税金資産	151	107
その他	159	238
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	10,175	9,531
有形固定資産	11,259	9,536
無形固定資産	149	145
投資その他の資産	1,359	1,610
固定資産合計	12,769	11,292
資産合計	22,944	20,823

	当期末 (平成22年3月31日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
支払手形・買掛金	2,741	2,954
短期借入金	1,050	2,070
1年以内に返済予定の長期借入金	528	183
未払法人税等	572	206
賞与引当金	218	187
その他	2,488	1,098
流動負債合計	7,599	6,700
長期借入金	1,038	316
繰延税金負債	235	473
役員退職慰労引当金	337	270
その他	438	140
固定負債合計	2,050	1,201
負債合計	9,650	7,902

	当期末 (平成22年3月31日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
<b>純資産の部</b>		
資本金	1,975	1,975
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	9,846	9,533
自己株式	△815	△815
株主資本合計	13,296	12,983
その他有価証券評価差額金	△2	△62
評価・換算差額等合計	△2	△62
純資産合計	13,294	12,921
負債・純資産合計	22,944	20,823

## ■個別損益計算書

(単位:百万円)※単位未満は切り捨て

	当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
<b>売上高</b>	29,599	29,332
売上原価	19,727	20,481
売上総利益	9,871	8,851
販売費及び一般管理費	8,430	8,021
営業利益	1,441	830
営業外収益	128	141
営業外費用	114	132
経常利益	1,455	839
特別利益	0	28
特別損失	539	173
税引前当期純利益	915	694
法人税、住民税及び事業税	751	377
法人税等調整額	△322	△52
当期純利益	487	370

## ■個別株主資本等変動計算書 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位:百万円)※単位未満は切り捨て

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成21年3月31日残高	1,975	2,290	9,533	△815	12,983	△62	12,921
事業年度中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△174	—	△174	—	△174
当期純利益	—	—	487	—	487	—	487
自己株式の取得	—	—	—	0	0	—	0
自己株式の処分	—	0	—	0	0	—	0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	60	60
事業年度中の変動額合計	—	0	312	0	312	60	372
平成22年3月31日残高	1,975	2,290	9,846	△815	13,296	△2	13,294



# 開発・生産・営業・物流拠点



メイホク食品(株)



(株) 函館なとり



(株) 全珍



埼玉工場



## 開発拠点

食品総合ラボラトリー  
東京都北区豊島8丁目3番3号

## 生産拠点

(株)なとり埼玉工場  
埼玉県久喜市清久町1番6号

メイホク食品(株)  
北海道北斗市清水川220番1号

(株)函館なとり  
北海道北斗市清水川142番12号

豊島ファクトリー&オフィス  
東京都北区豊島8丁目3番3号

(株)全珍  
広島県呉市広末広1丁目3番28号

## 営業拠点

営業所全国35カ所

## 連結子会社

国内9社

## 物流拠点

首都圏配送センター  
埼玉県加須市大森2丁目23番1

北日本配送センター  
北海道札幌市東区北19条東22丁目1番4号

東北配送センター  
宮城県仙台市若林区卸町東2丁目2番7号

中部日本配送センター  
愛知県名古屋市中川区柳森町803

関西配送センター  
大阪府東大阪市本庄中1丁目1番33号

九州配送センター  
福岡県大野城市御笠川4丁目7番16号



食品総合ラボラトリー



豊島ファクトリー&オフィス

## 会社概要・企業集団の状況

### 会社の概要

平成22年3月31日現在

会社名	株式会社なとり
本社	東京都北区王子5丁目5番1号
設立	昭和23年6月
資本金	1,975,125,250円
従業員数	556名(男子390名、女子166名)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、商工組合中央金庫、 農林中央金庫、りそな銀行、三井住友銀行

### 企業集団の状況

当社の企業集団は、子会社9社を連結対象会社として構成され、おつまみ(2カテゴリー・9ジャンルを機軸とし、珍味売場向け6製品群「水産加工製品」「畜肉加工製品」「酪農加工製品」「農産加工製品」「すなっくな珍味製品」「その他製品」、珍味売場以外向け3製品群「小物菓子製品」「素材菓子製品」「チルド製品」、惣菜製品他、食品全般の製造・販売を主な内容として事業活動を展開しております。また、所有不動産の有効的な活用を目的とした賃貸事業も行っております。

### 役員

平成22年6月29日現在

取締役会長	林 徹
代表取締役社長	名取 三郎
代表取締役副社長	名取 雄一郎
取締役常務執行役員	出島 信臣
取締役常務執行役員	小林 眞
取締役上席執行役員	小嶋 利光
取締役上席執行役員	北見 弘之
取締役(社外)	岡崎 正憲
取締役(社外)	中尾 誠男
監査役(常勤)	井沼 克昭
監査役(社外)	割出 雄一
監査役(社外)	河合 洸一
監査役(社外)	大野 二朗
上席執行役員	西村 豊
上席執行役員	今関 利夫
執行役員	水野 政裕
執行役員	永井 邦佳
執行役員	山形 正夫
執行役員	鎌田 達夫
執行役員	安田 正伸

## 株主優待につきまして

平成22年3月31日現在、当社株式を100株以上保有の株主の皆様に対して、よりすぐりの商品を贈呈いたしております。

#### ■優待内容

100株以上1,000株未満 2,000円相当

1,000株以上 3,000円相当

なお、優待品は定時株主総会終了後に発送いたしますので、皆様の手元へお届けするのは7月上旬になる予定でございます。何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。



2,000円相当



3,000円相当

## 株式の状況 平成 22 年 3 月 31 日現在

### 株式状況

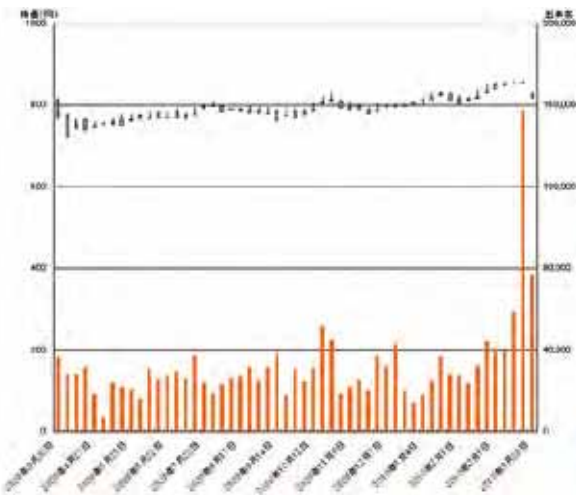
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,532,209株
株主数	26,628名

### 大株主

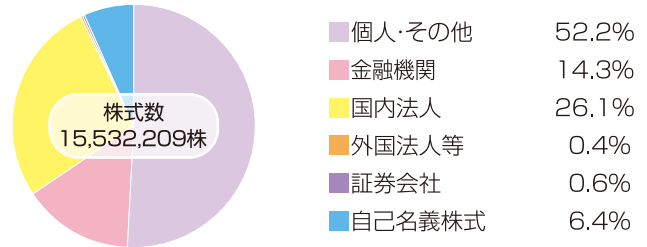
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社名旺エステート	2,147,000	13.8
有限会社メイオウ	837,336	5.4
名取三郎	678,808	4.4
横山よし子	672,684	4.3
名取雄一郎	544,700	3.5
なとり取引先持株会	519,920	3.3
なとり社員持株会	431,160	2.8

注) 上記のほか当社所有の自己株式989,531株があります。

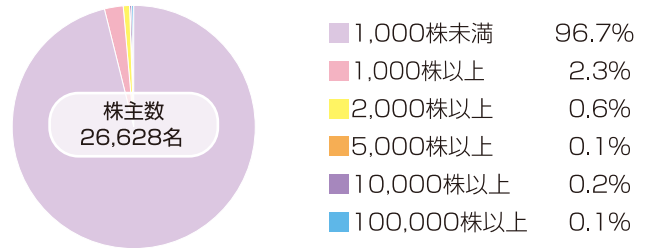
### 株価チャート



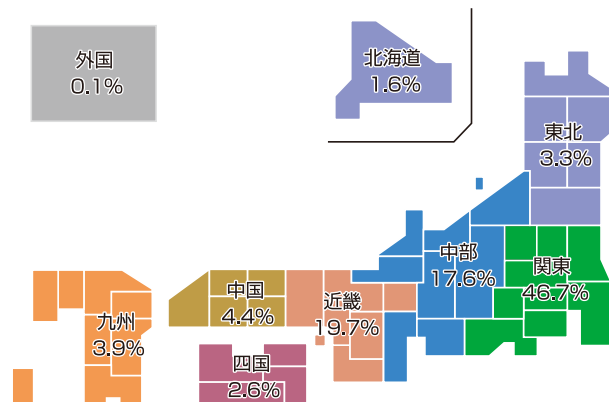
### 所有者別(株式数比率)



### 所有者株式数別(株主数比率)



### 地域別(株主数比率)



# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法によります。 ただし電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告ホームページ <a href="http://www.natori.co.jp/koukoku/index.html">http://www.natori.co.jp/koukoku/index.html</a>
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031（フリーダイヤル） 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

HOME PAGE



<http://www.natori.co.jp/>

## ●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。

確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。